

環境配慮の緩衝材で業界No. 1 目指す

海老名 発
From Ebina



「仕事はやる気になると愛着がわいてくるもの」と何事にも前向きな清水社長。片道2時間40分かけて通勤している。「海老名でお酒の楽しめる所を開拓したいと思ってるのですが…」

箱詰めされた製品を、運搬時の衝撃や振動から守る「緩衝材」。現在、国内で流通する緩衝材は、主原料にデンプンを使った生分解性（＝微生物の作用で、土に還る性質）の製品が主流であるをご存知でしょうか。しかも大量生産が確立されていて、値段も発泡スチロール製品より安いのです。この「エコ」緩衝材は、物流分野を中心に今や常識であると言っても過言ではありません。今回は、環境に配慮した緩衝材の自社生産・全国一の会社を訪ねます。

この会社はイー・ジェイ株式会社（清水博則社長、社員30人）。民事再生法の適用を受けた同業の会社から営業権を買い取る形で、平成16年4月に設立されました。製造工場は社家・本郷と愛知県のと3カ所です。「ばら緩衝材」など6種類の製品を中心に製造しています。

社家にある事務棟向かいの工場を見学させてもらいました。ここでは15人が製造に携わっています。繭玉の形の緩衝材は、主原料にコーンスターチ（＝トウモロコシのデンプン）を使った粉末の材料を発泡させて作ります（左下写真）。型から押し出された完成品は隣の機械で袋詰めし、全国に向けて出荷。工場全体にはボツスコーンのような香ばしいにおいがほのかに漂っていて、何も知らなければお菓子工場と勘違いしてしまうかもしれません。

イー・ジェイ(株)
(本社・社家)

同社は単なる緩衝材の製造にとどまらず、付加価値のついた緩衝材の開発に力を注いでいます。既に商品化されている代表格として、水に強いセルロース（木から抽出した成分）を主原料に作った、アスパラガスの下に敷く緩衝材があります。これは、アスパラから出る水分を吸収して戻さないので、ダンボール箱を

汚すことはありません。また成分に酢酸（＝酢）も含まれているため、殺菌・抗菌効果もあります。この商品は、年間で市場に出回る100万ケースのうち、10万ケースに採用されています。

このほか、ミズナやカイワレダイコンの根元に使われるウレタンの代わりのエコ緩衝材などを試作中です。開発の信条は「失敗をしない者は成功しない」。社長は、会議室いっぱい不良品が出てしまっても頭ごなしに怒ることはしません。「どこが悪かったのかを反省し、それをどのように次に活かすかが大事」と言います。ちなみに、製品開発で最も失敗が多いのは社長ご本人だとか…。

一方でPRにも力を入れています。宣伝に対する反響からニーズを探り、新製品のアイデアへとつながることも少なくないからです。このため、これまで行っていない一般的な消費者へのPRも模索しています。また今後は、地元海老名との接点を増やしていきたいそうです。そのきっかけという意味でも「市主催の環境展に出展しています。もっと市内企業との交流を深めたい」。

「環境にやさしい、を基本にオリジナル製品を供給し続けるオンリーワン企業で、業界世界一を目指します」と力強く語る清水社長。同社の取材を通じて、緩衝材に限らず、工業、そして私たちの生活に不可欠な物が、地球環境に負荷をかけない製品にとって代わる流れが加速していった感じがありました。

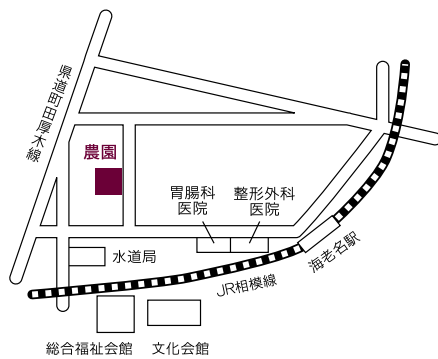


次々と型から押し出されてくる繭（まゆ）玉状の緩衝材



ばら緩衝材の使用例。箱に敷き詰めることでびんを傷めずに運搬できる。湿気にも強い

「海老名発」では、各分野から発信される「海老名」を紹介。4・7・10・1月の15日号に掲載します。



稲作体験農園

利用者を募集

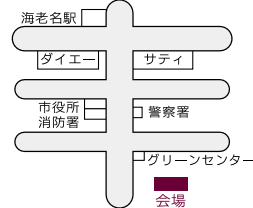
市では、市民のみなさんに水稻栽培の農作業を通じて緑や土に親しんでいただくため設置している市民農園（水田）の利用者を、次のとおり募集します。

▽応募資格 耕作地を所有していない市内在住の方 ※駐車場はありません。徒歩・自転車での通園となります。▽募集区画 22区画（1区画約90㎡、家族・団体での利用可）▽利用期間 6月上旬～10月下旬 ▽利用料 無料。ただし、苗・肥料代（2400円程度）などは自己負担。

申込 所定の申込書（農政課・各コミセン・各図書館にあります）に必要事項を記入して、4月17日（月）～27日（木）に直接またはファクス（☎233・0346）で同課へ。応募多数の場合は抽選。利用決定者には5月14日（日）に事前説明会を行う予定です。

担当 農政課農政

会場案内図



4月29日（土・祝）

土の日 トマトのもぎとり

市青空市出店者会では、大谷地区で「土の日・トマトのもぎとり」を開催します。当日は多少汚れてもよい服装で、軍手・せん定ばさみなどをご用意ください。▽日時 4月29日（土・祝）午前9時～。品物がなくなり次第終了。▽場所 大谷300番地「集団トマト温室」（左上地図・海老名駅から徒歩15分）▽販売方法 もぎ取ったトマトを廉価で販売。※当日は、会場周辺にのぼり旗を掲出。地場産の野菜なども直売します。

☎ 西山岩夫（☎231・2071）、児島立吉（☎231・2461）、農政課農政担当。